



グループウェアとSFAの一元化で コスト削減、業務効率化を実現！

IT 株式会社 ICD 様

会社設立 10 周年を機に社員全員が関わる部分で「新しいなにか」を始めたいと社内業務改善の一環として、グループウェアの見直しを決定した株式会社 ICD 様。『Knowledge Suite』導入により、グループウェアと SFA の一元化も実現。大幅なコスト削減と飛躍的な業務効率化に成功したという。

時代に即した良いものを取り入れていく必要性を感じ、乗り換えを決定

グループウェアの見直しを行ったきっかけは、会社設立 11 年目の門出の年に今後の事業展開を見据え、社員全員が関わる部分で「新しいなにか」を始めたいと考えたからです。それまで使っていた ASP 型のグループウェアに特に大きな問題があったわけではありませんが、全社員が利用する「グループウェア（＝新しいなにか）」の改善を行うことになりました。その根本には、IT 企業という業種柄、時代に即した良いものを取り入れていく必要性を感じていたというのがあります。

ただ、既存グループウェアの利用期間が長かったため、当然そこには“慣れ”があり、その中で切り替えることを納得してもらえるものでなければいけません。明らかに現状よりも機能が充実していなければいけませんし、コストメリットも重要な判断基準となります。情報システム部門が「セキュリティ」「運用（仕様）」の両面から、複数の製品を比較検討した結果、導入を決定したのが『Knowledge Suite』です。

1 ヶ月半以上の移行期間を設けることで乗り換えによる「違和感」を払拭！

運用を開始するにあたっては、以前のグループウェアの利用をいきなり止めるのではなく、『Knowledge

Suite』と同時運用する移行期間を 1 ヶ月以上設けて、徐々に『Knowledge Suite』を利用する頻度を増やしてもらいながら、スムーズに浸透させていこうと考えました。

まずは、多くの社員が利用する社内施設の予約を『Knowledge Suite』設備予約を使って行うことを徹底しました。そして、徐々に以前のグループウェアの利用制限をかけていくことで、『Knowledge Suite』の積極利用を促しました。当然、導入当初はほとんどの社員が「違和感」を感じ、機能面においても、どうしても以前のものと比較をして不便と感じることが多々あったのですが、そうした問題は時間をかけて慣れてもらうしか解決方法がありません。そのために、1 ヶ月半以上の移行期間を設けたことは、結果的に成功で、考えていたよりもスムーズに移行できたと思います。

また、『Knowledge Suite』は、サポート体制もしっかりして、問い合わせをすれば、すぐにきちんとした回答が返ってくるので、これも、乗り換えに後ろ向きだった社員の不満を解消した一因だと思います。

クラウドならではの機能改善スピードに進歩するグループウェアを実感！

『Knowledge Suite』を運用するようになって驚いたのは、機能改善のスピードです。以前利用していたグループウェアは、ASP 型ということもあり機能改善



グループウェアとSFAが 連動しているので、負担が軽減！

(導入担当者：取締役副社長 COO 神農氏 (中央))

を待つというより、運用ベースでの改善や工夫でカバーしていました。利用していたときは、そういうものだと思っていましたので、特に不便は感じなかったのですが、『Knowledge Suite』へ移行してみると、やはりこちらのほうがいいですね。

現在は、スケジュールはもちろんのこと、メッセージ、ワークフロー、ファイルなどの標準機能は全社員が利用しています。グループウェアを介して外出先からでも簡単に連絡を取り合えるようになったことは、外出の多い社員にとっても好評です。これまでは運用を軌道に乗せることに注力していましたが、これからは運用に少し工夫を加えることで利用機能をさらに柔軟に活用していきたいと思っています。

コスト的な敷居が低いので、SFAを初めて利用する企業にはおすすめ！

実は、グループウェアとは別にSFAも他社製品を使っていたのですが、それも『Knowledge Suite』で一元化しました。検討当初は全社的に使うグループウェアのみの切り替えでコスト削減を考えていましたが、『Knowledge Suite』を導入したことで想定以上のコスト削減と同時に業務の効率化も実現させることができました。

以前は別々のシステムだったため、いちいちログインし直したり、スケジュールなどの情報を二重に登録しなければいけなかったりと、いろいろと手間がかかっていましたので、それらの負担が軽減されると、社員には好評です。また、日々の営業活動を蓄積していくことで、関係者全員がリアルタイムに確実に営業状

況を共有することができるようになり、ナレッジを共有するという目的が達成できました。

営業報告に対して、コメントのやり取りができるというのもいいですね。これは、コミュニケーションツールとして十分な役割を果たしているように思います。特にアドバイスや質問がなくても「お疲れさま」とコメントすることで、社員のモチベーション維持につながられるのではないかと考えています。

『GRIDY SFA』は、コスト的な敷居が低いので、SFAを初めて利用したいと思っている企業には、ぜひおすすめしたいアプリケーションです。

Outline



株式会社 ICD

「Mobile × IT = ICD」をキーワードに事業を展開している株式会社インタラクティブ・コミュニケーション・デザイン (ICD) は、設立当初、携帯電話がまだ普及し切っていなかった当時から手掛けているモバイル分野をはじめ、Web分野で価値あるサービス、最適なソリューションを提供している。すべての人と人のコミュニケーション (通信) がインタラクティブ (双方向) につながっていく未来のネットワーク社会をデザイン (創造) することを理念に、さまざまに変化、多様化していくデバイス、メディア、技術を、常に時代の最先端でとらえ、技術力、クリエイティブ力を生かし、さらなる展開、事業拡大を目指している。

設立年月日：2000年11月10日
所在地：東京都港区赤坂1-12-32
アークヒルズ アーク森ビル17F
代表者：代表取締役社長 曾我 英治
従業員数：80名
事業内容：モバイルソリューション事業
ITソリューション事業
ネットビジネスサービス事業
URL：http://www.icd.co.jp